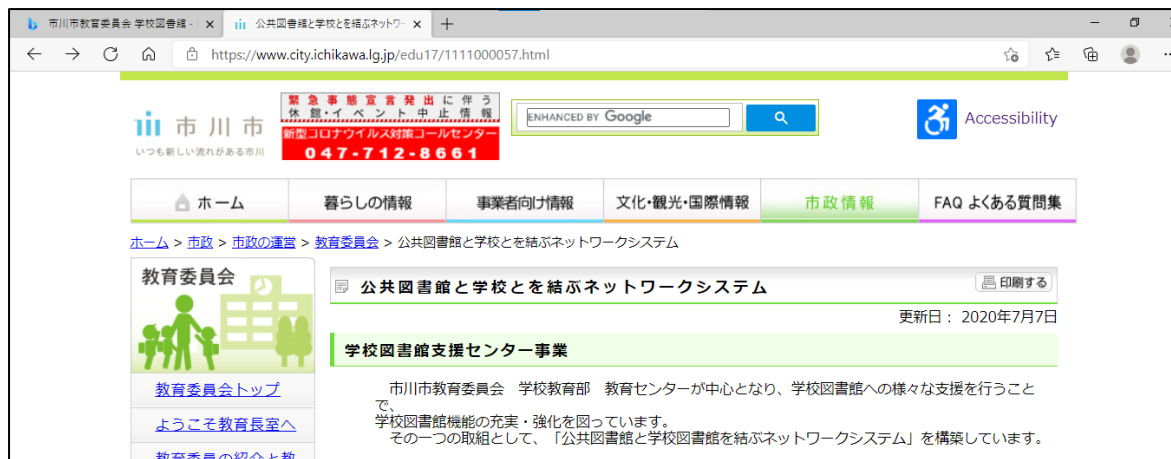
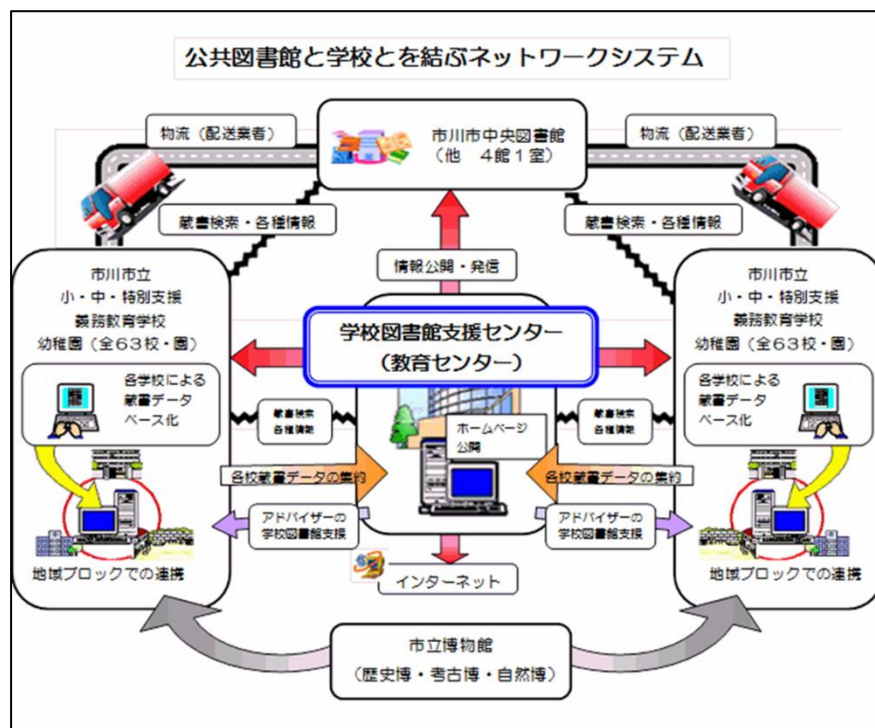


連携(自治体の事例)に関して

公共図書館と学校を結ぶネットワーク～市川市教育委員会のホームページをご覧ください～



「みそ汁作りの学習がしたいので、いろいろな具が分かる本が欲しい」「羽田の資料が欲しい」「写真が多く、ルビが振られた欲しい」中央図書館に相談した内容の本が、学校に届きます。届いた本のケースを開けるとは、期待とワクワク感でいっぱいです。



ネットワークシステムのねらい

「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」の推進

市川市は、公共図書館と学校図書館、さらに学校図書館相互のネットワークを構築することにより、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、児童生徒の「豊か」と「自ら学ぶ力」を育み、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざしています。

学校図書館活用の充実に向けて

1 図書配送

- ・中央図書館と学校、学校間で必要な図書の相互貸借を行っています。
- ・配送業務は、配送業者へ業務委託をしています。
- ・中央図書館を起点に2台の配送車が週2回（水・金）、全校63校（園）を一巡します。
- ・貸出期間は、原則4週間です。
- ・貸出冊数に制限はありません。

2 公共図書館の学校支援の充実

- [1]学校へ必要な資料の貸出を行っています。
- ・年間1000件以上の依頼に対応しています。
 - ・ネットワークシステム専用の図書を確保しています。
 - ・全蔵書を対象とする貸し出しを行っています。
- [2]学級文庫の団体貸出をしています。
- ・発達段階に合わせた図書を用意しています。
（低・中・高学年用、中学校用、特別支援学級・学校用）
- [3]おはなしバスケット
- ・幼稚園や小学校へ出張おはなし会を行っています。

めざす学校図書館像 生きる力・夢や希望を育む学校図書館

●学習を支える図書館●
・教科学習等の資料提供
・「調べ学習」への支援
・学習関連での読書活動、読書案内

●読書生活を支える図書館●
・多様な読書活動
・学校生活を広げる読書案内
・各種図書館行事、活動
・学校への団体貸出
・個に応じたレファレンス
・児童生徒の心の支援

●研究を支える図書館●
・発達段階を考慮した指導計画の立案援助
・学習単元の開発
・学習のねらいの把握
・資料の吟味、収集、提供
・個に応じたレファレンス

◇いつでもだれでも自由に使える図書館◇

- ・常時開館、常時対応
- ・一人一人の児童生徒及び教職員に対する支援
- ・使いやすい館内レイアウト、配架
- ・簡単で便利な図書管理検索システム
- ・柔軟で魅力的な蔵書構成

◇多様なメディア、外部機関と結ばれた図書館◇

- ・視聴覚メディア等図書以外のメディア
- ・インターネット情報
- ・学校と公共図書館、学校相互を結ぶネットワーク（図書等の共有化）
- ・博物館との連携

◇家庭・地域とともに歩む図書館◇

- ・保護者、地域の方による学校図書館支援や読書活動（読書コミュニティ）
- ・人材に関する情報

市川市学校図書館支援センターの業務

市川市では、市川市教育委員会教育センター内に「学校図書館支援センター」を設置し、学校図書館への様々な支援を通して、学校図書館機能の充実・強化を図っています。

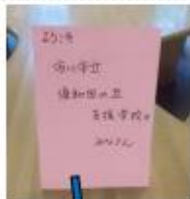
- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ○学校図書館活用に関する調査・研究 | ○学校図書館各種研修会の企画立案・実施 |
| ○学校図書館アドバイザーによる学校図書館支援 | ○学校図書館への情報・資料の提供 |
| ・読書教育、学校図書館業務への指導・助言・協働 | ○教師用教材研究図書の貸出 |
| ○物流ネットワークの運営・調整 | ○学校図書館に関するデータの集約・分析 |
| ○情報ネットワークの整備・保守 | ○視察及び見学者への対応 |
- など

*教育センターのホームページで、バックナンバーを見ることができます

学校図書館支援センター通信 NO.135 7月号

令和元年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

須和田の丘支援学校 中学部2年 校外学習 ～中央図書館へ行こう～



ミニ絵本の会



7月3日（木）、須和田の丘支援学校 中学部の2年生が、校外学習として、中央図書館を訪れました。中央図書館の司書の方が、須和田の丘支援学校へ読み聞かせに行くことはありましたが、須和田の丘支援学校の中学部の生徒たちが、中央図書館へ足を運んだのは、はじめてのことです。

今回の校外学習を企画したのは、司書教諭の野口由紀子先生です。「学校で学んだことが、社会で活かすということを生徒たちに実感してもらいたい」「余暇の過ごし方のひとつとして、保護者の方と休みの日に中央図書館へ来てもらいたい」という思いから計画を立てました。校外学習に向けての事前準備をしっかりと行い、中央図書館の司書の方との事前打ち合わせでは、当日の流れ、公共図書館の約束ごとなどについて、丁寧に確認したそうです。そのため、須和田の丘支援学校の先生方と中央図書館の司書の方が、今回の学習のねらい等を共通理解したうえで、校外学習当日を迎えることができました。

生徒に向けての図書館の利用方法の説明では、常勤学校司書連絡会で作成した「学校図書館オリエンテーションで使えるパワーポイント」を須和田の丘支援学校バージョンに編集をして、使用しました。また、生徒たちが本に親しむことができるように、校外学習の前に「本作り」を行ったそうです。「本作り」を通して、表紙、裏表紙、背表紙、あそび紙、目次など本のつくりを学びました。スクラップブックのように、自分が好きな写真を好きなように貼り、目次を書いて完成した自作の本は、どの子も気に入って何度も読み返していたそうです。事前学習で、このような体験をした生徒たちは、中央図書館内にある「子ども図書館」の本に興味を持ち、自分の好きな本や好きなことが載っている本を探したり、実際に手に取って読んでみたりしながら、思い思いに図書館にある本を楽しんでいました。

あたたかい歓迎の中、地域の方と一緒に中央図書館を利用している生徒たちの様子は、インクルーシブ教育が形となった学習であったように感じました。学校に戻った生徒たちから「また行きたい」という声が聞かれたそうです。次につながる学びとなりました。

生徒たちの作品 ～本作り～



学校で教えてもらった方法で実際に本を借りました。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



第五中学校では毎朝、朝読書の時間があります。小学校では国語の時間を図書館で過ごし読書を楽しんだ経験のある五中生です。朝読書の時間はどの教室も静かに本を広げ、集中して読む姿がみられます。そんな朝読書の時間を図書委員会でサポートできることはないかと考え、昨年度から、図書委員のおすすめの本の推荐やコーナー展示、図書委員が本を選んで、学級文庫にする事を始めました。嬉しいことに図書委員の選んだ本が気に入る、続きを借りに来てくれる生徒もいます。

今年度の委員会の目標は「積極的に仕事を行い、多くの人に本への興味を持ってもらえるようにする」です。今年度も図書委員の力を借りて、読書の楽しさを伝えていきたいと思っています。

【市川市立第五中学校 学校司書 護辺 安子】

第一中学校&国府台高校 ビブリオバトル

7月10日（木）国府台高校の図書館にて、第一中学校と国府台高校の図書委員会による、合同ビブリオバトルが開催されました。司書教諭 末廣美貴子先生と学校司書 萩原身知子さんの提案からはじまった国府台高校とのビブリオバトルは、今年で3年目を迎えました。昨年度、図書委員会に所属していた生徒も参加するなど、生徒たち同様に国府台高校との交流が浸透し、楽しみにしているようでした。



ビブリオバトルには、各校5組の出場があり、第一中学校、国府台高校の順に、交互に前に出て行きました。制限時間の5分を有効に活用しながら、どの発表も説得力のある内容で、聞き手の心に響くものでした。すべての発表を聞き終えた後、紹介された本を手にとる生徒や「この本図書館に置いてありますか」と質問する生徒など、「読んでみたい」と多くの生徒たちが感じたようでした。また、中学生と高校生の本を選ぶ時の視点が異なるため、新しい感性やものの見方・考え方に触れるよい機会となりました。中学生の発表の中では、本を通して自分を振り返る場面がありました。例えば、「20歳のソウル」の紹介では、「やりたいことがあっても予期しない事態がおきてできなくなってしまふことがある。やりたいことができる環境があることが幸せだと思ってほしい」と発表していました。このような今回の経験を活かして、第一中学校の図書委員会の生徒たちは、文化祭にて全校生徒に向けて、劇を取り入れたビブリオバトルを行うそうです。



国府台高校の生徒が紹介した本

- OLオナジの恋 作:真原 裕一
- 新訳 走れメロス 作:新井 隆雄
- 千夜物語の語り手 作:赤川 次郎
- 千夜物語の語り手 作:赤川 次郎
- 作:黒川 あさみ 監修:タビ
- 小説と音楽 作:辻村 深月

【第一中学校の生徒が紹介した本】

- O色白 作:園 かねえ
- O色の恋 作:小寺 龍一
- Oコービーがめめいとうち 作:川口 樹
- O20歳のソウル 作:中井 由理子
- Oと 作:小寺 史宣

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市尾高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.wichikawa-school.jp/index.html>

